



資料編

Fujisawa Urban Master Plan

- 1 用語解説
- 2 藤沢市都市マスタープラン部分改定の経過

1 用語解説

	用語	意味	掲載ページ
ア	アメニティ	快適さや便利さ、潤い	35
	インキュベーション	新規事業や起業の立ち上げを支援するサービス・活動	46、152
	雨水貯留浸透施設	雨水を一時的に貯めたり、地下に浸透させたりすることにより河川への流出を抑制する施設	53
	エコ・コンパクトシティ	中心市街地や主要な交通結節点周辺等を公共交通を基本にネットワークし、コンパクトで環境負荷の少ない「集約型都市構造」を持った都市の概念	49
	NPO	営利を目的としない民間組織 (Non Profit Organizationの略)	15、172
	延焼遮断帯	大地震時等において市街地大火を阻止する機能を果たす、道路、河川、鉄道、公園等の都市施設と、それらの沿線の一定範囲に建つ耐火建築物により構築される帯状の不燃空間	52、89、93、101
カ	海洋レクリエーション機能	海を主たる活動の場とするレクリエーション(遊び・スポーツ・観光等)の機能	35、47
	環境共生モデル都市、ツインシティ	環境と共生するモデル都市をめざす都市づくりとして、神奈川県が中心となって進めているプロジェクト。 東海道新幹線新駅を誘致する寒川町倉見地区と相模川対岸の平塚側地区とを新たな道路橋でつなぐツインシティ構想を中心に、両地区の機能分担と機能連携が図られた一体的な都市を整備し、全国との交流連携の窓口となるゲートの形成をめざしている。	18、20、59、152、160
	クラスター型構造	一極集中に対して、多核分散型の拠点等を公共交通等でネットワークする都市構造	37
	景観形成地区	閑静な住宅地や個性ある商店街といった身近な生活環境の質の向上と美しく魅力ある街並み景観の形成を図るため、地区のまちづくりのルールを住民が定めることができる制度	56
	交通需要マネジメント	利用者のニーズを尊重しながら、車の利用の仕方や暮らしぶりを工夫することにより、自動車交通の円滑化を図ろうとする施策の総称 Transportation Demand Management(TDM)	50
	コンパクトな都市構造	集約型都市構造。市街地の無秩序な拡大に対し、持続可能な都市を形成するための空間像	8、22、30
サ	再生可能エネルギー	太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱等、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギー	50
	里山	人々の暮らしと結びついてきた近傍の林、森、山	50、156
	事業実施量 (アウトプット指標)	事業を実施することによって直接発生した成果物・事業量 (例:道路の整備による道路整備延長の増加)	173

	用語	意味	掲載ページ
サ	シビルミニマム	都市における市民生活の必要最小限の基準	12
	集約型都市構造	居住、交流等の各種機能を集積した都市構造。これからのまちづくりにおいては、少子・超高齢社会に対応した「歩いて暮らせるコンパクトな集約型都市構造」への再編が不可欠となる。	32、49
	ストック	これまでに蓄積されてきた建築物や道路、下水道等の都市基盤	7、52、53
	スプロール	都市郊外部のスプロール化を指し、市街地が“無秩序に拡大”(sprawlの本来の意味)していく現象	12
	スマートインターチェンジ	高速道路へのアクセスの向上を目的に、サービスエリアや、パーキングエリアまたは既存のインターチェンジの間に設置されるETC専用インターチェンジ (ETC:高速道路などの料金所で止まらずに通行料を精算できるシステム(Electronic Toll Collection Systemの略))	33、59、 152、153、 157 他
	成果指標 (アウトカム指標)	事業を実施することによって得られた成果(例:道路の整備による渋滞延長・事故等の解消)	173
	生物多様性	様々な生態系が存在すること。並びに生物の種間及び種内に様々な差異が存在すること	36、49
	ゼロ・エミッション	発生する廃棄物を全て価値あるものとして利用し、排出物をゼロにしようとする考え方	50
タ	ソフト対策	津波避難訓練や津波避難路への案内シールの貼り付けなど、物理的な構造物等を用いることなく行うことができる対策 (対義語:ハード対策)	8、52
	ターミナル	鉄道やバス路線等の終点始点となり、分岐点として多数の路線を束ねる役割を持つもの	35、59、96、 136、140 他
	タウンマネジメント	都市経営の視点のもと、ソフトやハードな施策・取組を総合的、一体的に捉えて計画し、推進することで、街の活力を復活・維持させること	172
	地区計画	都市計画法に基づく制度。地区レベルで生活環境を保全したり整備するため、建築物の用途・形態等に関する制限や、道路、公園等の配置等について地区の特性に応じて、きめ細かく定めることができる。計画の策定には、地区内の住民の積極的な参加と協力が必要である。	37、43、56、 84、100
	超高齢社会	総人口に対して65歳以上の高齢者人口が占める割合を高齢化率という。高齢化率が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」、21%を超えた社会を「超高齢社会」と定義される。	7、22、32、 43、171 他
長寿命化 (公共施設等における)	予防保全型の適正な維持管理を行うことで、公共施設等を長期間利用できるようにすること。また、新たに施設整備を行う際には、長年に利用できる仕様とすること	56、171	

	用語	意味	掲載ページ
夕	調整池	集中豪雨などの局地的な出水により、河川の流下能力を超過する可能性のある水を河川に入る前に一時的に溜める池	170
	DID	人口集中地区(Densely Inhabited Districtの略) 国勢調査結果をもとに、原則として人口密度が1km ² 当たり4,000人以上の地域で、実質の都市的地域、狭義の都市としての市街地の規模を示す指標	41、173
	都市機能	医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業等の都市の生活を支え、都市の魅力を形成する機能	7、18、34、 45、58 他
	都市基盤	道路・鉄道等の基幹交通施設や緑地・公園などの都市のさまざまな活動を支える最も基本となる施設	12、42、52、 56、171 他
ハ	バリアフリー	高齢者や身体障がい者等の社会生活に妨げとなる障害を取り除くこと	15、53、56、 69、76 他
	ハード対策	道路(津波避難路)や堤防等の整備など、物理的な構造物による対策(対義語:ソフト対策)	8、52
	ビオトープ	bio(生物)とtope(場所)を合成したドイツ語。単に位置的な場所としてのみ捉えるのではなく、多様な動植物や微生物が生息していくことができるような、水、大気、土等も含めて、良好な環境を有する場所	50
	ボーダーレス化	国境をはじめ、業種、業態、時間、組織、人材、仕事、性別などの様々な境界がなくなること	16
マ	モーダルシフト	環境問題の視点から、輸送のモード(方式)を切り替えること	50
ヤ	谷戸	丘陵地帯が浸食されてできた谷あいの低湿地、及びその周辺の斜面樹林を含めた地形	36、49、89、 152、170 他
	遊水地	洪水時の河川の流水を一時的に氾濫させる土地	53、137、139、 141、149、170
	ユニバーサルデザイン	障がいや年齢、国籍などにかかわらずあらゆる人が快適に利用できる製品や建物、空間をデザインし、一人でも多くの方が、より使いやすく快適にするという思想	15、23、42、 46、56 他
	要配慮者	災害発生時において、必要な情報を迅速かつ的確に把握し、自らを守るために安全な場所に避難するなどの一連の行動をとることが困難であったり、自宅を失うなどの理由により避難施設で生活する場合に、他者の配慮を必要とする方々(高齢者、障がい者、外国人、乳幼児、妊婦等) また、これらの要配慮者のうち、高齢者や障がい者など、災害が発生した場合に一人で避難することが困難であり、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために、特に支援を要する方々を「避難行動要支援者」として位置付けている。	23
	予防保全	建築物等に不具合や故障が生じる以前に、修繕等を行うことで、性能・機能を所定の状態に維持する保全の方法	171
ラ	ライフライン	都市生活の維持に必要な不可欠な電気・ガス・水道・通信・輸送等	53

	用語	意味	掲載ページ
ラ	ラダー型の交通軸	鉄道や幹線道路といった交通が、縦軸(南北)と横軸(東西)方向によるはしご型に配置された交通軸	33、34
	ランドマーク	ある地域の目標となる標識、地形、建造物	104
	立地適正化計画	医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直した計画	8、32、53、173、180
	連節バス	大量輸送のために車体が2連以上につながっているバス	136、171

2 藤沢市都市マスタープラン部分改定の経過

藤沢市都市マスタープランの部分改定にあたっては、「藤沢市立地適正化計画」の策定に併せ、「藤沢市都市計画審議会」において検討を行うとともに、パブリックコメントや市民説明会の実施、郷土づくり推進会議との意見交換等を行いながら、進めました。

	市民等	都市計画審議会	議会	庁内
2015				5/13 庁内プロジェクト
				10/21 庁内プロジェクト
				12/22 庁内プロジェクト
2016		5/27 報告(155回)		4/21 庁内プロジェクト
	6/9~7/23 郷土づくり推進会議	7/26 報告(156回)		7/19 庁内プロジェクト
		8/26 報告(157回)		8/8 庁内プロジェクト(建設)
			9月議会 報告	8/23 政策会議
		10/28 諮問(158回)		9/23 庁内プロジェクト(建設)
		11/25 報告(159回)		10/31 庁内プロジェクト(建設)
	11/14~1/20 郷土づくり推進会議			12/26 庁内プロジェクト
2017				1/16 庁内プロジェクト(建設)
		2/28 報告(160回)		
				4/10 庁内プロジェクト
		5/25 素案報告(161回)		5/25 政策会議
	6/30~7/31 パブリックコメント		6月議会 素案報告	
	7/4, 7/9, 7/13 市民説明会			
	8/31 中間報告(162回)		8/9 庁内プロジェクト	
	11/24 答申(163回)			
2018				2/1 政策会議
			2月議会 最終報告	

都市計画審議会の審議内容

155回	2016/5/27	進行管理及び改定の考え方
156回	2016/7/26	津波に対するまちづくり
157回	2016/8/26	少子超高齢社会に対するまちづくり(立地適正化計画)
158回	2016/10/28	諮問 全体構想(事業進捗状況・たたき台の確認)
159回	2016/11/25	全体構想(たたき台の確認)
160回	2017/2/28	地区別構想、推進方策(たたき台の確認)
161回	2017/5/25	素案報告
162回	2017/8/31	中間報告
163回	2017/11/24	答申 最終報告